

# NEWS LETTER



△ボランティア塾 in 鶴嶺高校 (9/29開催)

## CONTENTS

- ・市民活動げんき基金
- ・12月～3月主催事業予告
- ・ボランティア塾 in 鶴嶺高校
- ・こどたん+2023、HP制作講座
- ・サポセンの貸出備品
- ・「さぼちゃんが行く！」  
特定非営利活動法人もったいないジャパン
- ・ITスキルアップミニ講座 5
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



市内小学校の田んぼ学習をサポートしている三翠会さん。そのお裾分けで育てたバケツ稲も実りの秋を迎え、はざかけして天日乾燥。水辺の生き物環境を守るプロジェクト「湘南タゲリ米」は今年も無事出荷を終えたとのこと。さて、こちらは手で脱穀・もみすり、新米への道のりは遠い…!

## 募集がはじまります！ 令和5年度実施「市民活動げんき基金補助事業」

市民からの寄付と市の積立金を財源に、市民の自主的で公益的な事業を財政面で応援する事業。活動を軌道にのせたい、次の一步として新規事業を展開したいときなど、市内で主に活動している市民活動団体は、分野や法人格に関係なく応募できます。



### ◆ 募集期間：令和4年12月1日(木)～令和5年1月12日(木)

▷応募書類の提出・問合せ先：市民自治推進課 協働推進担当 ☎82-1111  
@茅ヶ崎市市役所本庁舎4階

### ◆ 初めて応募する方 ◆

「制度説明会」開催！  
市の職員による制度の概要説明

<12月9日(金)>

- ・15時～ オンライン開催
- ・19時～ 集會式開催  
(@市役所本庁舎4階会議室5)
- ※申込必須 12/7(金)17時締切

問合せ先：市民自治推進課  
協働推進担当  
☎82-1111

### ◆ 「伝わる！企画書作成会」：読み手に伝わる企画書の書き方や、有効な予算の立て方など、申請書類作成の個別相談です。

- ・期間：12月12日(月)～12月23日(金)※12/17(土)・12/18(日)・12/21(水)除く
- ・時間帯：①10時～②15時～③19時～のいずれか  
→お申込み後に調整させていただきます
- ・場所：ちがさきサポセン
- ・申込み：サポセン窓口(88-7546)または右記QRコードより



～制度内容が一部変更になっています。詳細は次項へ～

# 「げんき基金補助制度」を活用して活動のステップアップを図ろう！



令和5年度より制度の内容が一部変更になりました。スタート支援からステップアップ支援3回目まで、市とサポセンが協力して、団体の成長を総合的に、よりきめ細やかにサポートしていきます！

## 制度の主な変更点

### ◆「中間報告シート」の作成・提出

10月に一度、4月～9月までの事業をふりかえり、進捗状況や事業採択時の市民活動推進委員会評価をふまえて工夫したこと、その他感想、今後の展望などを記入して市民自治推進課に提出します。

### ◆1回目ステップアップ支援を受けた翌年1年間は「振り返り期間」

補助を受けた事業について、実施報告会での評価もふまえ、事業内容、収支、広報、組織運営など団体自身がじっくりとふりかえり、課題整理や改善に取り組みます。今後の団体の方向性や事業計画等について検討するとともに、人員体制など組織基盤の強化を図り、2回目以降のさらなる補助申請に備える期間とします。

### ◆ステップアップ支援補助限度額は上限50万円、補助率は80%、70%、60%と段階的に変動

補助金事業終了後も継続して活動していくことをイメージして段階的に自主財源の比率を高めていきます。最大4回の補助金活用期間に伴走支援を受けながら、自立に向けて準備を進めていきましょう。

例) 令和5年度にスタート支援から補助を受けた場合

	補助金の種類	補助限度額
令和5年(2023)	スタート支援 *1回限り	総事業費の90%または10万円のいずれか低い方
令和6年(2024)	ステップアップ支援 1回目	総事業費の80%または50万円のいずれか低い方
令和7年(2025)	*1年間は「振り返り期間」のため申請できません	
令和8年(2026)	ステップアップ支援 2回目	総事業費の70%または50万円のいずれか低い方
令和9年(2027)	ステップアップ支援 3回目	総事業費の60%または50万円のいずれか低い方

※補助率は、対象となる事業に要する経費から他の補助金等を控除した額で計算します。

(例) 総事業費が100万円の場合でステップアップ支援を初めて受ける場合、 $100\text{万円} \times 80\% = 80\text{万円}$   
 $80\text{万円} > 50\text{万円}$ なので、補助限度額は50万円

(例) 総事業費が50万円の場合でステップアップ支援を受けるのが2回目の場合、 $50\text{万円} \times 70\% = 35\text{万円}$   
 $35\text{万円} < 50\text{万円}$ なので、補助限度額は35万円

## 事業企画書作成のポイント！



### 1. スケジュールを確認する

書類提出の締め切り厳守。必要書類が整っていない、記載内容が不十分などの理由で再提出を求められることもあるので余裕を持って準備しましょう。事前に最低1回は市やサポセンに相談することをおすすめします。

### 2. 「広く市民の利益につながる事業」が前提

「公益性」は重要な選考視点のひとつ。団体の構成員のみを対象とした共益的な事業は対象外です。

### 3. 事業内容はできるだけ具体的に 収支予算との整合性をチェック！

5W1H(なぜ、いつ、どこで、だれに向けて、何を、どのようにしたいのか)を意識すると書きやすいです。計画通りに無理なく実施することができるのか、広報などの準備時間は十分なのか、人員体制も含めて事前にじっくりと考えてみてください。必要経費がもれなく計上されているのか、事業とは直接関係ない費用が計上されていないか、計算が合っているかなども、提出前に必ず確認！

### 4. 記述部分は第三者にもわかる言葉で簡潔に

「事業の背景」については、なぜその事業を実施したいと考えたのか個人的な体験や想いに加えて、公的機関等が実施した調査結果など具体的な数値を引用すると説得力が増します。

「目的や効果」については、事業をすることで地域やまちの課題に対してどのように貢献できるのか、何が実現し、その結果「誰が・何が」どう変わるのかを具体的に書きます。事業への参加者数や受益者数など、数値目標を盛り込むと事業効果が見えやすくなります。

(※事業計画書はA4サイズで3ページ以内！)

### 5. わかりやすく印象に残る事業名をつけよう

採択された事業は1年を通して市のホームページに掲載。サポセン広報紙等でも紹介します。

どんな事業をしているのか、ひと目で内容がイメージできる、心をつかむ事業タイトルにすることで、関心度も高まります！



# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ これからの予定&11月主催事業の開催報告

ひと目でわかる  
これからの予定



12  
DEC  
2022

12月3日(土) 14:00～16:00 第5回 SDGs カフェ

「障がいのある人とおしゃべりしませんか～津久井やまゆり園事件から6年、障がい者は今～」

12月6日(火) 13:30～17:00 ITスキルアップミニ講座5「パワーポイント活用！」

詳細は、P8をご覧ください

1  
JAN  
2023

1月23日(月) 18:30～20:30 NPO 講座「市民活動団体のための SNS 運用のイロハ」

○講師：市川 ヤスヒロさん (株式会社ボンド 代表取締役/デザイナー)

○対象：市民活動団体、自治会などの地域活動団体 ○参加費：500円、定員：20名

2  
FEB  
2023

2月18日(土)14:00～16:00 NPO 講座「パートナーシップでまちづくり～知っておきたい行政のしくみ」

○講師：企画経営課職員、市民自治推進課職員 ○対象：行政との連携・協働に関心のある市民活動団体

○参加費：無料、定員：20名

2月25日(土) 14:00～16:00 第6回 SDGs カフェ

○ゲストスピーカー：島村 美咲さん (おもちの田んぼの会)、鈴木 國臣さん (三翠会)

○対象：市民活動・地域活動をされている方、自治体・社会福祉法人職員、事業者の方、  
農業・SDGs に興味関心のある方

○参加費：無料、定員：30名



2月28日(火) 13:30～17:00 ITスキルアップミニ講座6「EXCEL 活用」

○講師：鈴木 洋一さん (NPO 法人パソコンボランティア湘南)

○対象：市民活動団体、自治会、社会福祉法人、公益法人、その他公共施設スタッフや、ボランティア活動を  
始めようとしている方

○参加費：500円、定員：10名 (1団体2名まで)

3  
MAR  
2023

3月4日(土) 14:00～17:00 地域の居場所づくり交流会VII

「人と人をつなぐ、メディアとしての『本』の可能性～」

○講師：磯井 純充さん (まちライブラリー提唱者)

○事例報告：池田 美砂子さん (Cの辺り)、大西 裕太さん (話せるシェア本屋とまり木)、  
芝 匠子さん (ぬくぬく文庫@横浜市青葉区)

○対象：本を通じた居場所づくりに関心のある市民、市民活動団体、自治体・福祉団体等の職員、自治会関係者など

○参加費：300円、定員30名

3月6日(月)～3月26日(日)「こどたん+プラス2023」オンライン

3月12日(日) 10:00～15:30「こどたん+プラス2023」@ちがさきサポセン

P5の予告もご覧ください♪

～市民活動パネル展～

3月6日(月)～3月12日(日)@ちがさきサポセン

3月14日(火)～3月22日(水)@茅ヶ崎市役所1階市民ふれあいプラザ

約30団体の活動パネルの展示、サポセンの紹介など (市民自治推進課との共催)



3月18日(土) 令和5年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開プレゼンテーション・公開ヒアリング

詳細は、サポセンHPをご覧ください (詳細が決まり次第アップします) ▶



## 開催報告 ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2022

◇日 時： 2022年9月29日(木) 5・6校時

◇第一部： 全体授業 ゲスト BENIRINGO

◇対 象： 1年生 400名 探究の学習

◇第二部： 市民活動団体による選択授業

ボランティア塾は、高校生の「知りたい」と市民活動団体の「伝えたい」が出会い学ぶ機会です。

今年度は3年ぶり第一部第二部と通常通りに実施できました。

### <第一部/〜気がついたらアクティビスト〜>

ゲストは、生徒が身近に等身大に感じられるよう、昨年に引き続き、茅ヶ崎を拠点に活動している20代のふたり、BENIRINGOの田中さんと阿部さん。

地域問題や環境問題について

「みんなで一緒に考える」ために、フリーペーパーやインスタグラム、さらには訪問授業やイベント開催で情報発信しています。

「BENIRINGOとは」「自己紹介と経緯」「環境活動家と呼ばれるようになった二人」というテーマでの話でした。学生時代のこと、今の活動に携わるようになった経緯をわかりやすく説明する二人に、生徒たちの真剣なまなざしが向けられました。

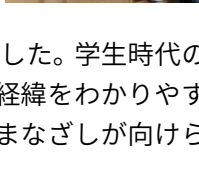
環境問題を中心とした社会課題、地域や世界に存在する問題を解決するためには、まずは多くの人がある問題を知ることが必要だという二人の考えがじわじわと伝わってくる内容でした。特別な何かではなく、当たり前前に環境のことを思い、生活していこうという姿勢に、生徒たちも何か感じていたのではないのでしょうか。

環境問題を中心とした社会課題、地域や世界に存在する問題を解決するためには、まずは多くの人がある問題を知ることが必要だという二人の考えがじわじわと伝わってくる内容でした。特別な何かではなく、当たり前前に環境のことを思い、生活していこうという姿勢に、生徒たちも何か感じていたのではないのでしょうか。

### ◎生徒のふりかえり (一部抜粋)

- ・マイクロプラスチックの問題が思っていたよりも深刻だった
- ・地域のためにいろんなことができるのはすごいなと思った。自分も将来地域の活性化に携わる仕事をしたいと思っているので今回の講演がとても楽しかった
- ・自分の好きなことがボランティアに繋がられるのがいいなと思いました
- ・ボランティアは手伝ってもらった側はうれしくなり、手伝った側は相手が喜んでるところを見てうれしくなるからみんなが幸せになれることだなと思いました
- ・中学で学んだSDGsを思い出しながら話を聞いた。ポイ捨てしないようにするや、レジ袋をもらわないようにするなど、自分が最低限できることを積み重ねていって、環境保全に貢献したいと思いました
- ・失敗も成功もすべて自分ものになるという言葉がすごく心に残りました

BENIRINGOの情報はコチラ▶



### <第二部>

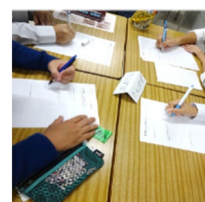
本校舎耐震工事中のため、主に仮設校舎で開催。初参加団体を含む15団体が、高校生に直にそれぞれの授業を実施しました。

生徒が選択したため各塾の人数は様々ですが、グループごとや輪になった教室もあり、また、静かな教室もあれば賑やかな教室もありといった様子で、各団体の思いが溢れた授業が展開されました。

ボランティア塾当日は感染症拡大防止の観点から他団体と話すことができず、そのため、たくさんの希望をいただき、11月20日(日)と23日(水)、サポセンで参加団体のふりかえり交流会を行いました。ZOOMでの参加もあり、率直な意見・質問からボランティア塾の基本についても話し合うことができました。



△テーピングの実演



△グループワークの一場面

### ◎生徒のふりかえり (一部抜粋)

- 【わーく】自分の家にもおばあちゃんがいるので、老人の方々の災害時のケアは大変だけど必要だと気づいた
- 【みつばち】原発の近くにいただけで差別され、人生が変わってしまうようなことはあってはならない
- 【ヒロシマ】今まで学んできた以上にひどかったと知った。自分の今いる環境はとても恵まれていると思った。周りの人たちに感謝をして生きていきたい
- 【ふるさとファーマーズ】農業って大切！！いつまでもおいしい野菜を食べたい
- 【ねばるぱ】とても楽しいゲームの中で、わかりやすく想像しやすい物で、地域による格差や努力による格差をなくす取り組みが理解しやすく…貴重な話だった
- 【わんにゃんマルシェ】無責任な飼い主や知識不足な人々への不満や憤りにすごく共感した…一匹でも多くの犬猫が幸せになれるようにしたい
- 【アステム湘南】選手人生がかかっている選手に対して、自分の技術を最大限に活かして治療したりすることに感動しました

### <参加団体>

「わーく」編集部(SCF)/チームみつばち/ヒロシマを語る会-神奈川/平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会/市民劇団オンリーワン/(一社)4Hearts/鶴が台みんなの居場所/(認定特非) Ocean's Love/NPO 法人発達サポートネットパオバブの樹/NPO法人こども応援丸/BENIRINGO/ふるさとファーマーズ/わんにゃんマルシェ/サンチャイ・ネパールねばるぱ/(一社)アステム湘南スポーツソサエティ

# こどたん + プラス 2023

楽しみに  
待ってまわ



2023年3月6日(月)～3月26日(日) オンライン (@ちがさきサポセンHP特設ページ)

2023年3月12日(日) 10:00～15:30 対面開催 @ちがさきサポセン

※感染防止対策を講じたうえで開催します

～みんなが“つながる”市民活動のおまつり～ 参加団体の出展内容の一部を紹介 (内容は変更になることもあります)

## 館内ワークショップ

- ・手話体験/指文字カードづくり
- ・オリジナルプレートづくり
- ・キーホルダーづくり
- ・フラ体験
- ・サンバ演奏
- ・竹とんぼづくり
- ・おえかきりレール
- ・木工



- ・3Dプリンター見学会
- ・読まなくなった絵本や  
使わなくなった文房具  
の回収



## サポセン企画コーナー

- ▷市民活動団体パネル展示
- ▷20周年企画
  - ・20年のあゆみ動画上映
  - ・「つながりアンケート」

誰かと“つながる”  
のに必要なものは？



## 屋外エリア(駐車場・駐輪場)

- ・ソーラークッカー
- ・ネパール雑貨/コーヒー豆・粉販売
- ・野菜販売/お菓子販売
- ・保護犬の啓発活動
- ・スーパーボールすくい/木工あそび
- ・木工品やおもちゃの販売



など

## ボランティア募集

まつりを一緒に盛り上げてくれる方・大募集!

- ・何かやってみたい!
- ・市民活動って気になる～!

興味がある方、お待ちしております♡

## オンライン<動画配信>

- ・市民活動団体と行政から提供の  
動画配信

## 開催報告

### NPO 講座 「スマホで運用も簡単! 無料アプリでホームページ制作」 全2回

- ◇日 時: 2022年10月22日(土)・29日(土) 14:30～17:00
- ◇講 師: 四條 邦夫さん、村田 久美子さん (NPO 法人セカンドワーク協会)
- ◇参加者: 2団体3名



本講座では SNS 投稿経験者を対象に、無料 HP 作成ツール「Jimdo (ジンドウ)」を使い、各自のスマホでホームページ制作を目標に開催。初日は、各自スマホに無料ツールをインストール～アカウント作成。手始めにツールで提供されているテンプレートへ、サンプル画像の挿入や文書の書き込みを体験。スマホだけで手軽にホームページ(HP)が作れることに驚きました。続いて HP と SNS で役割の違いや、団体 HP を持つことの意義や重要性の講義を受けました。情報公開が流動的な SNS に対し、HP は活動目的・団体概要、これまでの活動実績の蓄積などをいつでも閲覧可能な固定情報源です。また、団体への問合せ、寄付募集の窓口にもなり、会員募集や助成金等申請時には HP が信頼の裏付けとなります。

2回目は、団体 HP の構造を団体ごとに分析、公開する掲載情報を厳選。作成した HP をみんなで閲覧し、継続運用への質疑が盛んに交わされました。最終的にはパソコン版 Jimdo アプリの編集実習も行い、講師団体の厚意から講座終了後も暫くの間は伴走支援を受けられることになりました。講座後アンケートでは、無料で簡単に HP 制作ができたので、

「これから団体の活動をもっとアピールしたい!」  
「PC 版で団体 HP しっかり運営していきたい」  
「SNS 広報を HP と連動させたい!!」など意欲的な声が聞かれました。今回は参加できなかった団体も、HP に関するお悩みがあれば、気軽にお問合せください。

こんな時に借りれる！

サポセン

貸 出 備 品

上映会をしたいとき

- ・スクリーン (大型)
- ・プロジェクター
- ・スピーカー



屋外でイベントをやりたいとき

- ・大型テント
- ・小型テント(タープ)
- ・屋外用イス
- ・長机
- ・放送設備 (マイク/スピーカー)



会議や講演会をしたいとき

【サポセン館内利用のみ】

- ・大型モニター(54 インチ)
- ・小型モニター(32 インチ)
- ・パソコン

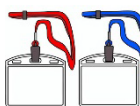


■館内には文房具も揃ってる!!

鉛筆、マジック、セロテープ、ホチキス、ハサミ、のりなど自由に使えますよ。有志の方から寄付いただくことも…♥用紙、ラミネートの販売もあります

【持出可】

- ・プロジェクター
- ・名札ストラップ



■利用者からの声

「放送設備、机、イスが無料で借りれて助かる」「大型モニターは会議資料を映しながらできるので紙資料の印刷代が節約できる」など

主な貸出備品	有料(1泊2日)		無 料		
	500円/回	テント/大	放送設備一式	非接触体温計(2個)	長机(7本)
	スクリーン/大	モニター大/小	ラジカセ(2台)	黒布	
300円/回	プロジェクター	Webカメラ	名札ストラップ	詳しいことはお気軽にお問い合わせください	
	スピーカー	PC集音マイク	パネル(A1)		
	テント/小	DVDプレイヤー	アンケートボード		



▲詳細はコチラ

ちょっと  
ブレイク

貸出ランキング

ちょっと  
耳より

保険について

安心して市民活動を行える制度

■2022.4月～10月 貸出備品ランキング！

順位	件数	貸出備品
1	37	プロジェクター
2	25	放送設備(マイク&スピーカー)
		大型モニター(館内利用)
3	16	スクリーン
4	7	スピーカー
5	6	名札ストラップ



大切に  
使ってね♪

「借用申請書」はサポセン HP からダウンロード可能  
電話やメールでも受付 OK！  
※DB 登録団体は使用日の 3ヶ月前から予約が可能  
(非登録団体は 2か月前)  
※特にプロジェクターの返却時には「付属品リスト」に記載の付属品があるか確認してください  
※不具合や破損、気付いた点があればお知らせください  
～安全に利用いただくため利用規約などを確認ください～

■市民活動の保険「市民活動等災害補償制度」

市内に活動拠点をおく市民活動団体等を被保険者として茅ヶ崎市が契約している保険で、**事前の登録手続きや保険料は不要！**活動中に起こってしまった予期せぬ事故によるケガ等について補償されます。※保険適用については保険会社が判断するため対象にならない場合もあります。

《対象となる事故》

- ・傷害事故
- ・賠償責任事故

《事故が起きてしまったら》

- 書類の提出期限は、事故日から **1か月以内**
- ・事故報告書 (茅ヶ崎市 HP からダウンロード  
または市役所 4階市民自治推進課窓口にて入手)
- ・団体規約
- ・事故日の活動内容がわかる書類 (日程表、指導者や参加者の名簿など)
- ・(賠償責任事故の場合) 現場や破損状況がわかる写真、見積書



▲詳細はコチラ

※上記以外の書類が必要となる場合があります



# さぼちゃんが行く！



## 特定非営利活動法人 もったいないジャパン

個人の方や企業、農家から、まだ食べられるのに廃棄される食品や使用できる日用品などの物資を寄付していただき、国内の児童養護施設やフードバンク、子ども食堂他、東南アジアを中心とした海外の孤児院や学校、支援 NGO などに寄贈しています。廃棄されてしまう多くのものを社会に還元、「もったいない精神」を普及することで「捨てない社会」を実現することを目的に活動しています。2016年4月設立。

《理事長の大森裕貴さんとスタッフの方にお話をうかがいました》

### 創設者山本高大さんの意思を引き継いで

不要本を無料回収して国内外の福祉施設や学校等に寄贈する NPO 法人セカンドブックアークを設立した山本さんが、活動の中で、家で眠る本以外の日用品や食料品も役立ててほしいというニーズに応えるために新たに立ち上げたのが「もったいないジャパン」です。

萩園に拠点を構え、個人や企業からの寄付物品を必要な方へ届けるために様々なネットワークを築き国内外を日々奔走していた山本さんですが、2021年9月に30代の若さで急逝。市内のコワーキングスペース「チガラボ」で知り合い、メール対応などで活動協力していた同年代の大森さんが、この度新理事長に就任されました。

### テキパキと動く女性スタッフのみなさん

現在、寄付物品は送付でのみ受付中ということですが、月曜日は特に荷物が多く、全国から100個近く届けられることもあるそうです。この日は約40個の荷物が宅配便で届きました。大型トラックの荷台から様々な形や大きさの段ボールが降ろされると、5名ほどのスタッフが送付状を確認しながら次々と開封、仕分け作業に取り掛かっています。大きなビニール袋一杯のぬいぐるみ、新聞紙に一枚一枚



包まれた食器類、家電の箱、未開封のタオルの束、雑貨類、絵本、衣類、防災備蓄食料等々。手際よく種類ごとに整理された場所に収め、開封済みの段ボールを積み片付けるまで30分ほど。送り主の思いも受け止めつつ、あっという間に作業が終了しました。

物品の寄贈先は国内外約40カ所ほど。行政や大学と連携して生活困窮者支援、被災地支援の物資として届けられることもあります。コロナ禍では大量のマスクや自宅療養者用の食品・スポーツドリンクなどが増えた一方で、企業からタブレットの寄付もありました。



最近では市内の子育てサークルに、絵本、おもちゃ、ボードゲーム、文房具、お菓子などを届けることができました。「うれしい、助かる！」の感謝の言葉が活動の励みになるそうです。行政に登録して活動している非営利団体であれば欲しいもののリクエストも可能だそうなので、困ったときはぜひ声をかけてみてください。

団体のホームページでは、活動レポートとともに、寄付できるもの、できないものを詳しく紹介しています。モノへの思い入れは人それぞれなので判断に迷うこともあるそうですが、未開封で大切に保管されていたとしても、シミやショウノウの匂いがついたもの、汚れのあるものなどは仕方なく廃棄処分に。廃棄するにはお金もかかってしまうので、送る側の責任や、必要な物だけを熟慮して購入すること、最後まできちんと使い切ることなど、モノへの向き合い方についても改めて考えさせられました。

### モノも人の想いも循環する持続可能な仕組み

寄贈物品を届けるための配送費や仕分け作業などのアルバイト人件費などの運営費は、寄付された貴金属やブランド品等を換金したりフリマに出店したりして工面しているそうです。金券や書き損じはがき、未使用切手なども運営費に役立てられます。

大森さんが考える団体の強みは「助成金や補助金に頼らず自立的に運営しているところ」と「他人から譲り受けたものを、それが必要な別の人に渡す仕組みの良さ」。クラウドファンディングの申請サポートやアニメーション動画の制作などを本業としている大森さんは、大学時代、ソーシャルビジネスコンテストの運営に携わっていたこともあり、もったいないジャパンに大きな可能性を見出しているそうです。

「山本さんを超えることはできない。けれども全く新しい自分なりの形で山本さんの納得するものをつくっていきたいです。」

明るさ全開の山本さんとは対照的に静かな落ち着いた語り口の大森さん。内に秘めた熱い想いと力強い決意が、どんな形になって花開くのか楽しみです。



# お知らせ

## ■ ITスキルアップミニ講座5 「パワーポイント活用！」



☀ 団体の活動を分かりやすく整理された資料作り ☀  
のコツ、PR動画もつくれます！

- ◇日時：12月6日(火)13:30～17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇講師：大木 伊都子さん（NPO法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：団体PR動画制作、スライドマスターで一括編集、オブジェクトの素材挿入、印刷設定など
- ◇参加費：500円（資料代）
- ◇定員：10名（要申込・先着順／1団体2名まで）
- ◇対象：市民活動団体、自治会、社会福祉法人、公益法人、その他公共施設スタッフ、興味のある方など
- ◇持ち物：筆記用具、ノートPC
- ※OS：Windows10・11、PowerPoint2016以降
- ※デスクトップPCの方は、サポセンの貸出PCが利用可能（要申込／先着2名まで）



お申込はコチラ▶

## ■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談  
できます。（無料、各回定員2名）

開催日：第2・第4月曜日

①13:00～14:00 ②14:00～15:00

③15:00～16:00



詳細はコチラ▲

※お申込みは直接 NPO 法人パソボラ湘南へ



## ■ サポセン「Twitter」でリアル情報発信中！

サポセン・団体からのイベント情報やボランティア活動のほかに生活に役立つこと、時にはつぶやきも発信しています。

（特ダネも…あつたりしますよ^^）  
つぶやいてほしい情報も募集中です！

@chigasapo もしくは

QRコードよりご覧ください。



## ■ ウクライナ支援募金の報告



10月より1ヶ月間、茅ヶ崎市国際交流協会による募金活動に協力しました。集まった「6,434円」は、ウクライナから茅ヶ崎に避難されている方々に、支援者のダニエルさんを通じて全額寄付されます。皆さまの善意に感謝いたします。一日も早く平和な生活が戻ることを心より願っています。

## ■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷12/1号：未来を考える市民の会

▷1/1号：ふるさとファーマーズ

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

12月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- ・12/3 PM 第5回SDGsカフェ
- ・12/6 PM ITスキルアップミニ講座5
- ・12/17 AM こどたん+2023 場所調整会議

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- ・1/23 NT NPO 講座

2月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

- ・2/18 PM NPO 講座
- ・2/25 PM 第6回SDGsカフェ
- ・2/28 PM ITスキルアップミニ講座6

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、上記以外でもフリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30（休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)）

アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき

（指定管理期間：2021年4月1日～2026年3月31日）

サポセンキャラクター  
“さぼちゃん”



サポセン HP